

新設カテゴリー① 2台ピアノコンチェルト

東京（1・2）と大阪の3地区で予選が行われ、のべ33人が参加しました。

参加者インタビュー

2台ピアノコンチェルトA 全国決勝大会入選

浦井優穂（学生会員）

うらいゆうは◎東京音楽大学付属高校1年。武田真理先生（正会員）、鈴木弘尚先生（正会員）に師事。



伴奏された奥村百合名先生（正会員）と浦井さん

指導者とコンチェルトで共演して



今回参加した一番の理由は、普段のレッスンでもお世話になっている奥村百合名先生と一緒にステージで演奏したかったからです！奥村先生は、常に、私がしたい表現をすぐに察知して、一緒に楽しんで演奏してくださいます。本番では、先生の伴奏がまるで本当のオーケストラの音のように聴こえてきて、とても気持ち良かったです。

今回の参加を通じて、2台ピアノで、相手の弾く音を聴くだけでなく、それを受けて自分がどう演奏するべきなのか考える力がついたかなと思います。また、自分の演奏をコントロールするために必要な耳（聴く力）も鍛えることができたように思います。第一生命ホールという素晴らしいホールで演奏でき、海外招聘の先生方からアドバイスをいただけたのも、非常に勉強になりました。自分に足りないものや、これからの課題を沢山発見することができましたので、今後もチャレンジを続けながらレベルアップしていきたいです。

指導者インタビュー

2台ピアノコンチェルトA第1位 太田糸音さん（伴奏：鯛中卓也さん）の指導者 武田真理先生（正会員）



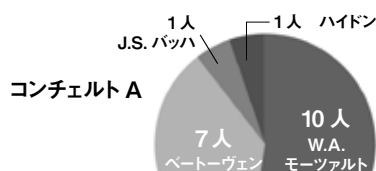
2台ピアノコンチェルト部門が初めて開催され、私の門下からも高校生の浦井優穂さん、太田糸音さんが受けてみたいと申し出ました。二人ともソロとの併願ですが、全国大会に出場でき、太田さんは一位を頂けました。太田さんは結果的に連日の出場になりましたが、これから演奏活動をしていくためには連日の演奏会で違うプログラムをこなす必要がありますので、良い経験となったに違いありません。



コンチェルト部門は、自分よりも高いレベルの人と組み、より良い影響を受けて成長できる機会でもあります。太田さんは憧れの先輩鯛中卓也君に、浦井さんは私と共に指導してくれている奥村百合名さんに伴奏をお願いし、二人ともピアノで素晴らしいオーケストラの伴奏をしてくれました。コンチェルトもアンサンブルである事には変わりません。オーケストラのスコアをソリストもよく勉強して、ピアノ伴奏の中にオーケストラの音をイメージすることは大切です。また今回の2台ピアノコンチェルトAでは課題曲が決められていたため、きちんと古典に向き合えたことは良かったと思います。早いうちからコンチェルト、室内楽等ひっくるめて勉強していくことは、ソロの成長にも繋がりますので、ピアノ学習者にとって不可欠なことだと思います。

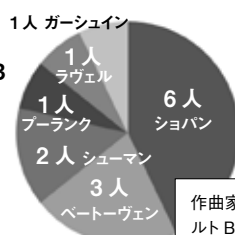
新設された2台ピアノコンチェルトA・B、グランミュージズG級の参加者、指導者にお話を伺いました。

新設カテゴリーも学びの好機に



課題として指定された4人の協奏曲のうち、モーツァルトとベートーヴェンの作品に人気が集まりました。

コンチェルトB



作曲家に指定のないコンチェルトBでは、4割以上の方がショパンを選びました。

2台ピアノコンチェルト 人気作曲家